

機関員操法指導会

令和4年6月13日から20日までの間、機関員になって3年未満の職員22名と機関員候補者13名を対象とした「機関員操法指導会」を実施しました。

機関員は、火災現場まで消防車を運転し、消火栓などから水を取水し、ホースをつないだ消火隊員に水を送る役割の隊員です。

この指導会では、以下の2点の操法を審査し、安全かつ迅速に、1秒でも早く水を送水するための技術を磨くことを目的としています。

- ①消火栓の水を取水する。
- ②消防車から放水できる水の量を即座に計算して報告する。

火災出場で重要な役割を担う機関員の育成については、消防車の自動揚水モニター装置などの電子化、自動制御など高度化した機能への対応の困難さや、2007年の中型免許制度創設後に運転免許を取得した若い職員が増えており、中型以上の消防自動車を運転できる職員の確保が当消防組合にとって、大きな課題となっています。

今後も、基本を忘れず、更にレベルアップを目指して、取り組んでいきます。



操法開始



安全管理用カラーコーン搬送



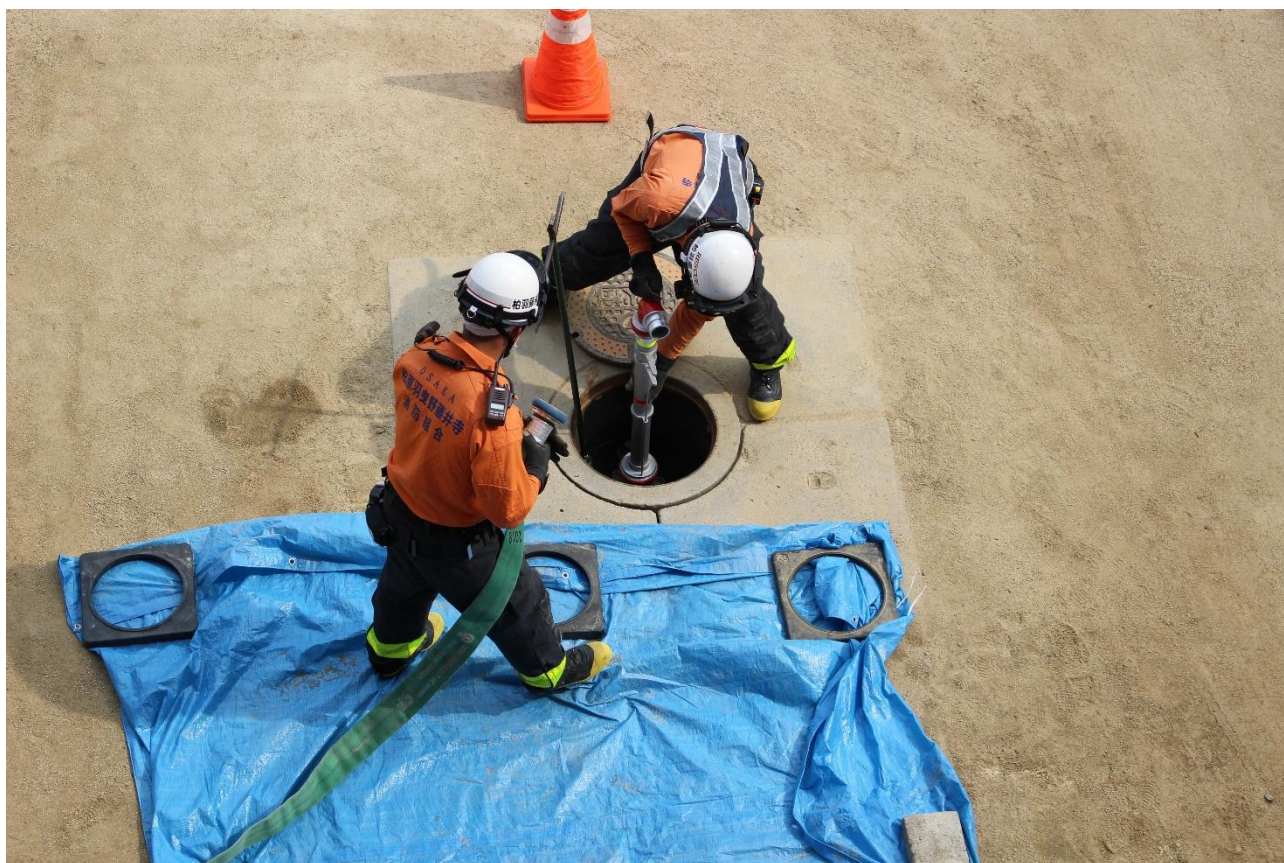
スタンドパイプと消火栓蓋開け用資機材の搬送準備



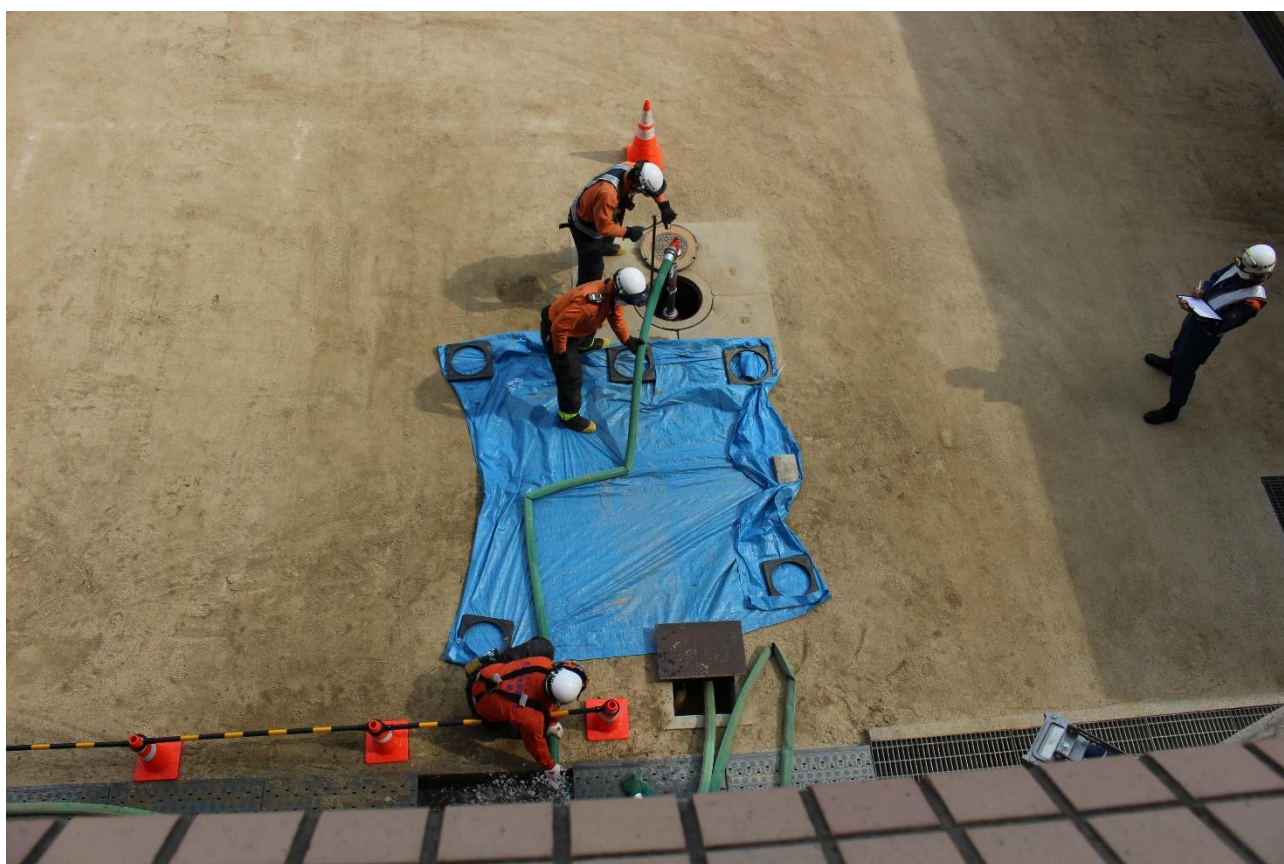
スタンドパイプと消火栓蓋開け用資機材の搬送



消火栓の蓋を開放



スタンドパイプ設置



消火栓の開栓



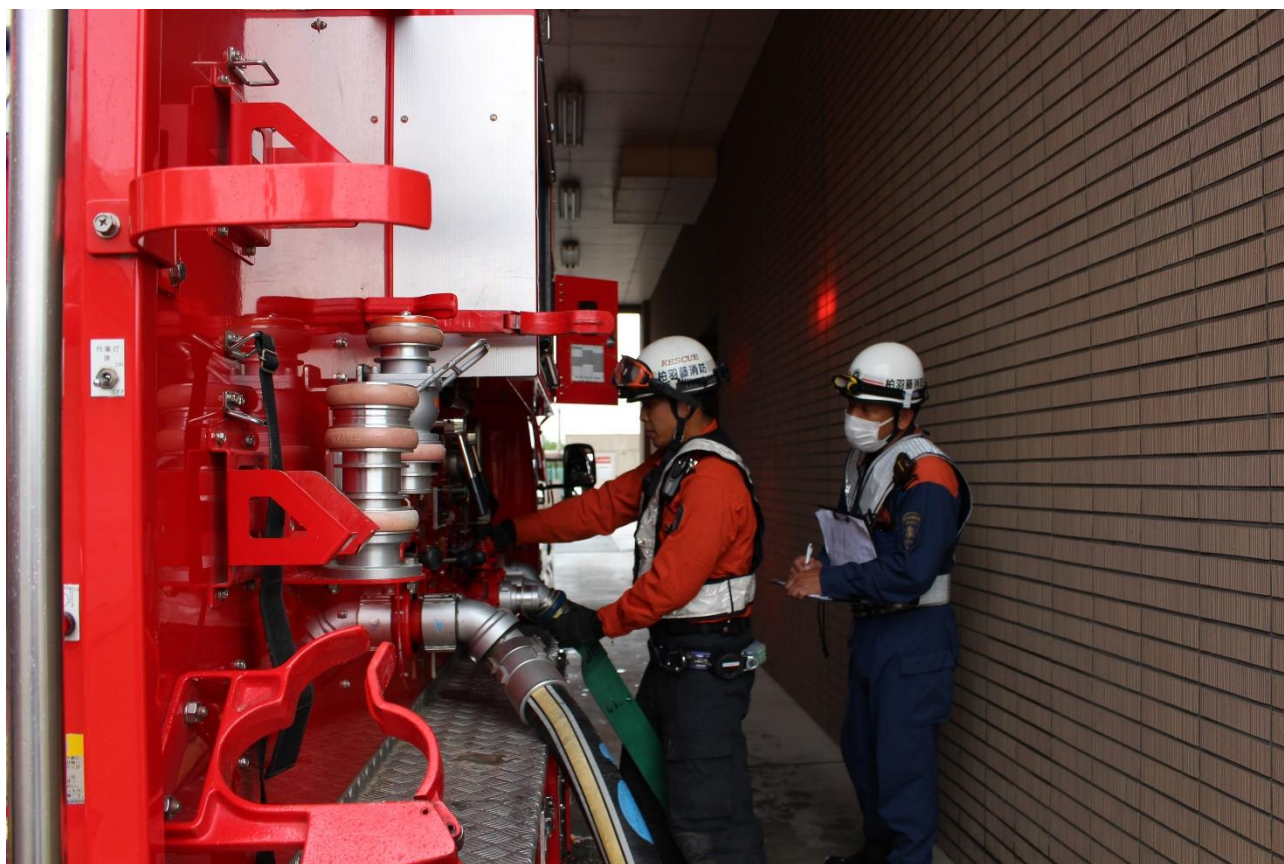
吸管延長



吸管延長中



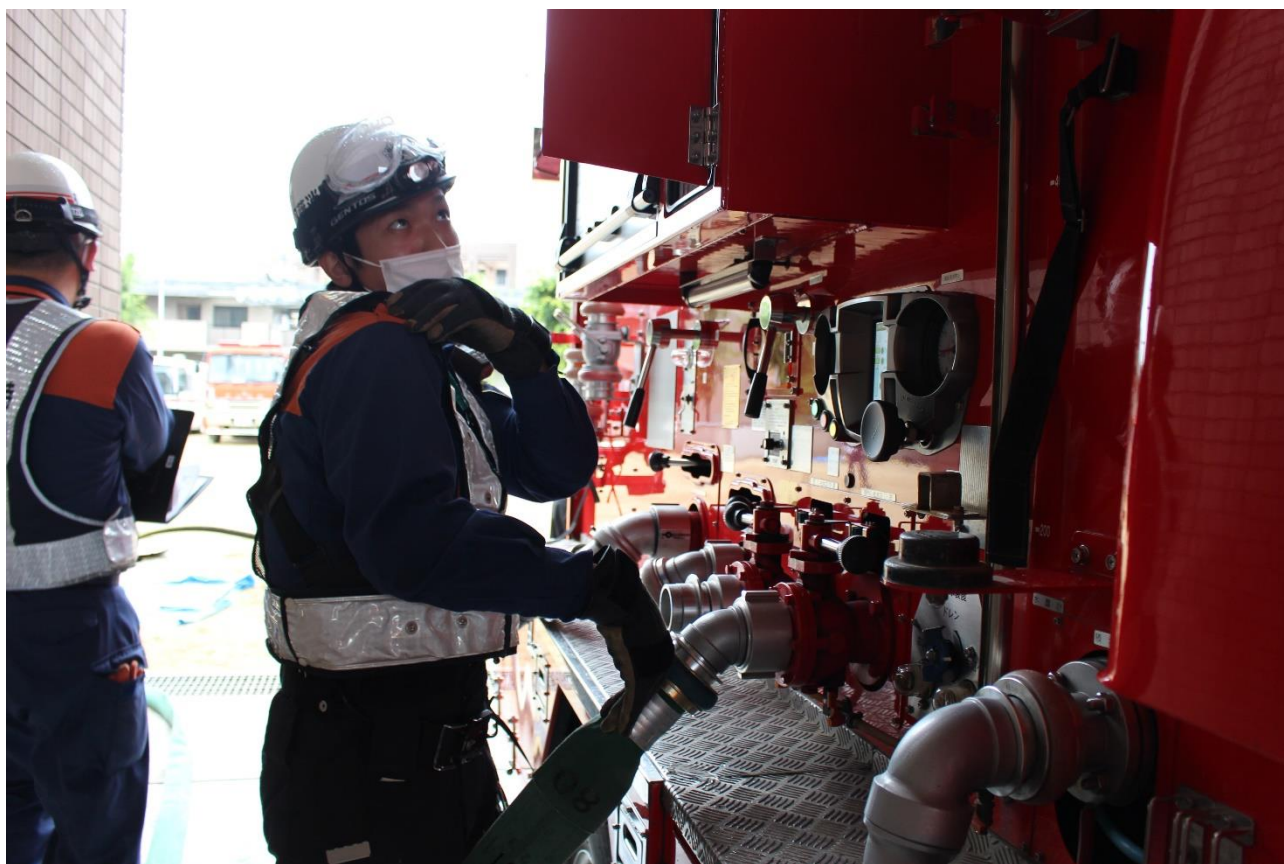
吸管設置



揚水操作



水量測定



水量報告の無線送信



機関員操法指導会 終了